



奈留高校 学校便り

鍛錬坂

令和5年

6月27日発行

第203号

奈留高校 E島 E明日 E仲間



校長室から 校長 釘島正智

6月の話題といえば、県高等学校総合体育大会と小中高一貫教育3大行事の1つである「かるた・百人一首大会」が外せません。

高総体では、まず総合開会式での行進が数年ぶりということで、私も期待半分、心配半分でしたが、プラカードも旗手も堂々としていましたし、前後に振る腕の高さが揃って統一感があり、立派な行進でした。外部の方からもお褒めの言葉をいただきました。テレビの放送時間が短かったのですが、可能な方はInstagramの動画もご覧ください。なお、コロナ禍前には全校行進を行っていた時期もあったのですが、費用面の問題もあり、現在は周年記念行事の一環として節目の年に実施する方向で検討中です。



校訓
知性 自主
積極 自律
性 軽 実 律
錬 録 践 律

戦績の方は、団体戦は某強豪校の高く厚い壁に上位進出を阻まれましたが、一戦一戦持てる技と力を尽くして得点をもぎ取る姿勢は本当に感動的でした。個人戦では3年生がベスト16、ベスト32に入りました。ベスト16は8位には入れなかったということなので同率9位のベスト10入り、ベスト32も17位。ちょっと苦しいへ理屈ですが、とにかく選手の頑張りを称えたいと思います。他の選手達も練習の成果をポイントに結びつける場面が随所に見られ、それぞれの集大成となる大会だったと思います。今年度の高総体は終わりましたが、生徒達が部活動を通して鍛えた心・技・体はこれからも彼らを支えてくれるはずですし、1、2年生は一年後に、先輩を超えるプレーを見せてくれるでしょう。

「かるた・百人一首大会」の百人一首では、昨年度中学生に持っていかれたチーム優勝を高校生が奪還してくれることを密かに期待していましたが、決勝の中高対決を制して高校生が見事に優勝。チームの主力生徒は、昨年度お姉さんに1枚差で負けた個人の部でも1位となり2冠でした。チーム戦では小学生も準々決勝に残り、個人戦では中学生が個人上位入賞もしました。小中高生が実力仲間で競い合い、楽しむことができたよい大会になりました。また、小学校低学年のかるたでは、子どもたちが札を取る速さと元気のよさにもびっくりしました。かるた・百人一首は、文字やことわざ、そして歌など、日本人にとっても、そして最近では外国の方にとっても日本の文化を学ぶ格好の材料になっています。是非、家族の方々と、里親さん、或いは外国の方とも機会と一緒に楽しんでください。

★Instagramはじめました★

学校での生徒の様子などを日々投稿しています。フォローお願いします！⇒



定期演奏会のお知らせ

7月 July

7月23日(日) 13時30分(開場13時00分)より、奈留離島開発総合センターにて、第21回奈留中高合同定期演奏会を開催します。今年度は1年生2名が入部し、現在は高校生8名で活動しています。3年生2名にとっては最後の演奏会です。悔いの残らないよう、地域の皆さまや保護者の皆さまに感謝の気持ちを込めて、精一杯、私たちの音楽をお届けしたいと思います。ぜひ、ご来場ください。お待ちしております！



行事予定

6/29(木)~7/4(火) 第1回考査(4日間)	18日(火) 郷土料理実習(2A)
7/2日(日) 英検(2次)	20日(木) 進学相談会
4日(火) 高大連携	21日(金) スポーツ&エンターテインメントデー
5日(水) 奈留地区青少年健全育成協議会	23日(日) 定期演奏会
6日(木) 放課後補習(3B)(~7/27)	24日(月) 夏季授業日・三者面談(~28)
10日(月) 相談週間・NAPER週間(~14)	イングリッシュキャンプ(1年)(~25)
11日(火) 窓ふきデー・消費者教育(1年)	インターンシップ(2A)(~27)
13日(木) 租税教室(3年)	28日(金) 終業式・平和教育

パラモンキング



6月18日(日)「2023五島長崎国際トライアスロン大会」、通称「パラモンキング」が4年ぶりに開催され、本校の男子総合運動部をはじめとする16人の生徒が、エイドステーションスタッフのボランティアに参加しました。「スイム」、「バイク」を終え、最後の「ラン」に挑む選手たちに提供する飲料や軽食の準備、そしてそれを手渡すボランティアでした。普段、見ることのできないトライアスロンを間近で体感し、興奮しながらもしっかりと与えられた役割をこなし、声がかかるまで応援をしていました。真剣な選手の様子をみて、生徒たちも良い刺激をうけたようでした。



〒853-2201 五島市奈留町浦1246-2 ☎ 0959-64-2210 FAX 0959-64-3087
奈留高校ホームページアドレス <http://www2.news.ed.jp/section/naru-h/>

ホームページはこちらのQRコードからもご覧いただけます⇒



高総体結果報告

<男子総合運動部>

団体戦 1回戦 3-0 勝 (対 対馬)
 2回戦 0-3 負 (対 瓊浦)
 個人戦ダブルス ベスト16 夏井・窄中
 3回戦進出 原塚・谷内
 1回戦敗退 梅野・村上
 個人戦シングルス ベスト16 夏井
 3回戦進出 原塚
 2回戦進出 窄中



<女子バドミントン部>

団体戦 1回戦 3-0 勝 (対 小浜)
 2回戦 0-3 負 (対 瓊浦)
 個人戦ダブルス 1回戦敗退 田中・松村
 六川・山下
 徳川・原塚
 個人戦シングルス 3回戦進出 田中
 1回戦敗退 六川、山下



《3年生からのメッセージ》

夏井 (男子主将) : 今までたくさんの苦難を乗り越えてきて、その成果を高総体で発揮できたと思います。しかし、瓊浦高校相手に勝つことができませんでした。後輩に思いをたくし瓊浦高校に勝ってほしいです。頑張り1, 2年生!

田中 (女子主将) : この3年間高総体に出場しましたが、今回の高総体が1番感動しました。目標であった、団体戦で1勝できて今までに感じたことない嬉しさがありました。ダブルスは幸音さんと組んで本当に良かったです。いろいろあったけど今までで一番良い試合だったと思います。個人戦では2勝でき、1番強い諫早商業高校とも戦うことができ、本当に良かったです。

梅野 : このメンバーだからこそ乗り越えられたことも多く、楽しいことばかりでした。ありがとう!

北川 : 3年間の中で、今回の高総体で一番のプレーで勝つことができ、嬉しかったです。

窄中 : 部員全員で高め合い、盛り上げてきたおかげで、とても楽しい時間を過ごせました!

藤 : 3年間、部活動を誰よりも頑張ったおかげで強くなり、楽しい時間を過ごせて良かったです。

中恵 : みんな頑張っていて凄い!と思いました。みんな、高総体お疲れさまでした。

原塚 : 今回の高総体が一番楽しめました。そして、一番一生懸命取り組めたと、最後まであきらめずに粘り強くプレーできました。悔しい思いと、やり切った思いがあり、複雑な気持ちです。

村上 : つらいこともたくさんあったけど、みんなとたくさん良い思い出をつくることができました。

吉村 : 何回もやめよう思ったり、自分に自信を持てなくなったりしたけど、続けて楽しかった事や、仲間と一緒に戦ってきた経験は良いものです。1, 2年生の皆さん、諦めず頑張ってください。

徳川 : 最後の試合で楽しんでできたので良かったです。ペアが心菜で最高でした。1, 2年生はこれからも頑張ってください。

六川 : 3年間の部活が終わり、少し寂しく思っています。部活をする中で、先生方や友達、両親、ホストファミリーの支援があったから3年間続けることができました。ありがとうございました。

山下 : 3年間の部活動でバドミントンの技術だけでなく、仲間と何かを一緒に取り組むことの楽しさや、大切さを学びました。その気づきを大事にしてこれからも生活していきたいです!

小中高合同かるた・百人一首大会

6月14日(水)小中学校体育館で第15回小中高合同かるた・百人一首大会が行われました。小学生低学年はかるた、高学年~高校生は百人一首に参加し、学年・校種を超えた熱い戦いを繰り広げました。それぞれが時間をかけて札を覚えた成果を存分に発揮し、上の句の読み始めて札を取る場面も多く見られました。

結果は以下の通りです。

【団体戦】優勝 かかと祭り男たち(3年 夏井・藤・村上)

第3位 鍛錬坂48(3年 窄中・梅野・吉村)

あぶりかるび(2年 松村・山口)

【個人戦】優勝 夏井 海聖(3年)

準優勝 六川 真央(3年) 松村 幸音(2年)



☆ペンリレー☆ 近藤 大輔 事務長先生

奈留高校に赴任して2か月が過ぎ、ようやく学校にも島にも慣れてきたところで、ふと自分の高校時代を思い出すことができました。

誌名の「鍛錬坂」のように、長崎県下のほとんどの学校は高台にあります。私の母校も同様に校門前に長い坂がありました。

早朝補習全盛期であった当時は、バスに乗り遅れるたびにその「坂」を走っていた記憶がトラウマのように残っています。

早朝補習の成果は残念ながら私にはありませんでしたが、規則正しい生活をしてきた点では社会人として役に立っているのだろうと自身に言い聞かせています。

奈留高校の坂は急な傾斜があり、確かに「鍛錬」の名に相応しい坂で、ここを毎日通学している生徒はそれだけでも感心してしまいます。

「小さな島の、大きな挑戦」が本校のキャッチフレーズですが、挑戦にはいつも越えなければならない「坂」が現れるものです。

大変なこともあるでしょうが、生徒の皆さんが「坂」を登り切り、全員が奈留高校から羽ばたいて行くことを願っています。

